

第4回「となりのお節介さん」部会 議事要旨

令和7年11月11日（火）
午後6時30分～8時00分
区在宅サービスセンター 第1・第2会議室

【出席者】（敬称略）

部会員 3名
区役所 中土
区社協 原田、久保

1) 推薦者なしのため認定会は開催しない

お節介さん認定者：26名（令和7年11月 現在）

2) お節介さん実施要綱について

- 実施要綱より、運営要綱、認定要綱等の文言の方がよい
- 実施要綱設置に向けて、内容について区役所・社協で次回の部会までに検討する。

3) 見守り隊の認定について

- A 地域の見守り隊が活動を始めて10年が経ち、代替わりをする。今まで見守る立場だった人が、見守られる立場になった。
- 町会を兼ねた集合住宅（市営住宅）の見守り隊の代替わりの機会に、表彰してほしいと依頼があった。
- 地域の会長から表彰してもらうか、社会福祉大会での表彰など、社協で表彰するのもいいのではないか。
- 新しい見守り隊の活動者をお節介さんとして認定し、活動を応援することはできる。その場合は、しっかりとした推薦ののちに認定する。
- 社協から推薦するより、A 地域の見守りコーディネーターが推薦する方がよい。
- 推薦があれば（誰が推薦しても可）、認定することはできるが、見守られている方から推薦してもらう方がよい。
- B 地域では、年度末に小学校主催で登下校の見守りをしてくれた方を表彰している。運動会に招待され、子どもたちからメッセージをもらえる。

4) 今後について

①周知について

- 9月25日（木）開催のふくふくカフェにて、あいあいプランを周知したが、なか

なか伝わらない。

- 区民まつりで、あいあいプランのシールアンケートを実施した。
- 社協のPPバックのデザインは、あいあいプランの周知になっており、区民まつりやえほん展にて使用し区民や子育て世帯配付した。
- 区社協だよりに、あいあいプランの紹介コーナーを設け、第1回目は、お節介さんを紹介をする。
- C地域がいい感じのグループになっており、喫茶にてお節介さんを紹介すれば、広がりやすいのではないかと。
- C地域のグループがどんな活動をしているのか、百歳体操時に訪問し、C地域で広がっていることを聞きに行く。
- こんな活動ならできるなど、きっかけづくりになれば良い。
- お節介さんを地域でどのように説明しているのか知りたい。

②推薦者を増やすには

- お節介さんだよりの特集号を作成する。社協だよりなどで、周知する際に使用できるようにしておく。
- お節介さんを発掘できるように、気軽な気持ちで推薦してほしい。
- 推薦者のハードルを低くしたい。
- 推薦する側になったとき、個人で活動している人を推薦することが難しい。
- お節介さんは町会で考えるのではなく、住民から推薦してもらうことが理想。
- 老人福祉センターに、お節介さんだよりや、推薦書を設置し周知してもらう。

③認定者を増やすには

- 地域の役として行っているのか、個人で活動しているのか区別がつかない。
- お節介さんに、認定してもらいたくない人もいる。
- 地域性もあり、どこかに所属していないと難しい地域もある。
- 福祉の事業所、地域でサポートしてくれている人を推薦してもらう。ケアマネ、見守りをしてきているコンビニ店員など。

次回 令和8年 2月 5日（木） 18時30分～